

● 高校生情報 / 支援金使途報告

(コーチ補佐・津田好一)

武蔵高校バスケット部は低迷しておりましたが、この数年は3、4回戦へ進み、都ベスト64・32へと着実に駒を進める力を着けて来ました。これは中学からの一連の強化(中学は安定的に練馬区ベスト4以上を続けています)に込めるべく生徒達が頑張り、加えて父母の熱心な応援、更にはRKMからのご支援があつて結実したものと確信しています。

さて、先の平成20年度総会(21年2月18日: 学士会館)にて、19年度の支援金の活用報告をさせて頂きました。高中学わせて新球購入のために満額を使わせて頂きました。RKM会員の皆様には、一方ならぬご支援を賜りありがとうございます。

またこの際、20年度分の支援金を頂戴致しました。こちらは、新球購入と外部の専門家トレーナー依頼の謝礼に充てたいと考えております。

月並みですが、この場をお借りしてお礼申し上げます。ご報告致します。

会報に関するご意見や各世代の活動報告、住所変更などの情報を左記までお寄せ下さい。  
RKM幹事会事務局  
info@rkmg34.com  
桑水流正邦(くわするまさくに)  
〒132-0035 東京都江戸川区平井  
4-22-704 渡瀬方  
携帯080-5068-9366

Table with columns: 氏名, 期, 命日. Entry: 宇田川 徹也, 39, 平成21年 5月7日

編集後記

今号からは福本幹事が編集長を担当してくれらることなりになりました。おかげで内容面では連載や継続的な企画を立てられるようになりました。各世代ごとの活動紹介記事もそのひとつです。

今度も期幹事会を通してそれぞれの世代の個性的な集まりを掘り起こして紹介していきたいと思えます。自薦他薦を問わず情報をお待ちしています。またテーマに関わらず会報へのご意見、ご提案をお気軽に幹事会までお寄せ下さい。

総会に続き、会報の発行にも中堅OB(47期から61期)の方々の協力で発行することが出来ました。有難うございました。内容も、各期の活動の記事が増え、以前にも増して、多彩な掲載内容にすることが出来たと思います。次回に向けて、皆様の更なるご協力をお願いいたします。

2月の総会には仕事の都合で出席できませんでしたが、楽しそうな内容だったようで非常に残念です。これからも皆さんが出席したくなるような総会を目指します。現役への応援もよろしく願います。

OBの皆様、いつもご支援有難うございます。お陰様で安定財政基盤までもう一息です。今後ともよろしく願っています。ところで、先日約60年前の畑先生の執筆文書の清書をいたしました(HPにも載るとは思いますが)。あつという間に40年前のピリッとした気分になりました!(48期 竹原/会計担当)

原稿をお寄せいただいたOBの皆様どうもありがとうございます。新体制での第一号の会報を無事発行できてほっとしています。年代を越えたRKM会員同士のコミュニケーションを促進するため、財政が安定してきたら、年2回の発行も計画しております。自分達の活動をアピールできる場ですので、大いに活用してください。(48期 福本/会報編集長)

昨年の総会は近年になく充実しました。西室、佐室両先輩のタイムリーかつ有意義なスピーチに加え、68期小野田君によるストリートバスケットの紹介では、新しい流れを知ることが出来ました。小野田君、ありがとう。(61期 桑田)

現役情報: 2008年8月~2009年7月

- 高校 新人戦 (第3支部) 2008年10月19日 武蔵 100-76 都竹早... 関東大会 (東京都予選Dブロック) 2009年4月19日 武蔵 126-77 都調布南... 中学 東京総総体 2008年8月22日 武蔵 27-76 駒場東邦... 練馬区民大会 (予選 8分x2ハーフ制) 2008年8月31日 武蔵 28-24 中村... 同決勝トーナメント 2008年9月6日 武蔵 67-65 貴井... 新人戦 練馬地区予選 2008年10月5日 武蔵 98-35 開進第一... 練馬地区決勝リーグ 2008年10月26日 武蔵 37-82 石神井西... 春季大会 ブロック予選 (練馬、杉並、中野) 2009年4月19日 武蔵 52-49 佼成学園... 都総体体育大会 練馬地区予選 2009年6月14日 武蔵 72-45 田柄...

- 中学生情報 / 2009年3月 (中学コーチ: 79期・堀田恭平、82期・脇田和慶) 1) 部員数 / 中2: 9名 中1: 16名 2) 指導方針 バスケットにも他に対してまじめなプレーヤーになつて欲しいなと思っています。気ままな武蔵生には少々堅いかもかもしれませんが。・練習へ取り組む態度・努力の継続・自主性をもつこと(声出し・朝練・上級生から下級生への指導等を「自分から」やること)・時間や挨拶・マナー等常識の厳守 そういった点を常に強調しています。 3) チーム・選手の特徴 堅いマンツーマンDFからの速攻を目指しています。

RKM 会報

2009年 7月発行

平成20年度総会報告

平成20年度RKM総会は平成21年2月18日に学士会館で開催されました。今回は50名の出席をみて盛会でした。特に78期から82期の学生諸君が多数参加しRKM総会にも「CHANGE」の風が吹いたように新鮮に感じられました。恒例により、左記事項が幹事会から報告・提案され、全件満場の拍手により承認されました(詳細は同封資料をご参照ください)。

- ・平成20年度事業報告および会計報告
- ・平成21年度事業計画および会計予算
- ・会長交代ふくむ役員人事

引き続き、大澤茂樹会長の勇退を受けて就任した吉澤正新会長(32期)の「畑語録」を引用した挨拶の後、梅戸仁氏(23期)による乾杯の音頭で懇親会に移り歓談が始まりました。

途中で、新会員(出席3名)の自己紹介、津田好一高校コーチ補佐から現役の活動報告と支援金の使途報告がなされた後、昨年に続き「現役支援金(目録)」が吉澤新会長から手渡されました。今年の総会のトピックスとしては、西室泰三(28期)東証会長の金融危機の現状に触れるスピーチ、佐室有志(29期)日本バスケットボール協会会長代行の協会事情紹介、小野田博彦(68期)さんが事業運営するバスケットサイト Rokuyunet の紹介プレゼンなど、ホットな話題が提供され有意義な会合になりました。最後に出席者の集合写真をとって散



会となりしました。尚、今後総会は、新会員が出席しやすく、季節も暖かくなる5-6月ごろの開催を検討しています。その経過措置として平成21年度総会は、今年の11月5日(木)に開催を予定しておりますので、スケジュール調整いただき、多くのOBが出席していただけるようお願いいたします。

総会より



乾杯の音頭 梅戸仁先輩(23期)



西室泰三氏 (28期)



佐室有志氏 (29期)



脇田(82期) 慶応スポーツ新聞紹介



乾杯!



40期前後の顔ぶれ



若手の諸君



現役支援金の贈呈



吉澤三兄弟

昨春卒業のRKM 新会員紹介(82期)

82期バスケット部は武蔵中学の時、渡部コーチの指導のもと、練馬区新人戦では優勝、三区合同大会で3位、最後の大会でも練馬区準優勝と3回の都大会出場を果たしました。最後の大会では都大会初勝利を上げました。武蔵高校では新人戦でいまままで壁と言われてきた都ベスト32進出、インターハイ予選でもベスト32進出を果たしました。学年全員で7人と決して人数が多いわけではなく、突出して大きな選手・運動能力のある選手がいればいいのですが、渡部コーチ・山崎先生指導のもと、ディフェンスに重点を置き、バランスよくまとまったチームであったと思います。



▲左から 若杉・時任・竹中・伊藤・加藤・脇田・北野

# 各世代のグループ活動ご紹介



## RKMゴルフ会開催

2009年最初のRKMゴルフ会を開催しました。毎年2回実施しているRKMゴルフ会ですが、2009年春の会を3月31日(火)に浜野ゴルフクラブ(千葉県市原市)で開催しました。

今回の参加者は、年度末の諸事多用の日ではありましたが、25期卒平野精士さんから44期卒宮喜彦さんまでの14名の方々、これにご親族や御茶ノ水附属OGが加わって総勢19名が参加しました。特に名古屋から参加して下さった青山初美(佐室兄妹、御茶ノ水OG)さんには参加者一同懐かしさが一層膨らみ、楽しさが倍加しました。

当日は場内のさくらにはすこし早く残念でしたが、時々日が差す無風のゴルフ日和で、それぞれにプレーを十分楽しむことができました。木村厚之助(30期)さんが実力を発揮して優勝されましたが、全員が持寄り賞品を受取り、みなさん先輩・後輩の分け隔てなく楽しく語り合い有意義な一日を過ごすことができました。

この会は、スコアにこだわりたい人、偶にナイスショットが出ればそれで満足な人、自然の中で過したい人、懐かしい人に会って会話・交流を楽しむ人、それぞれにゴルフを通じて先輩・後輩の分け隔てなく楽しく一日を過ごすことが目的の会です。順位付けは新ペリア方式ですので腕の上下に関わらずどなたにも優勝のチャンスがあります。下手だからひとに迷惑を掛けるなどと尻込みする必要はまったくありません。ゴルフをする方は次の機会に是非参加されて、互いに楽しい一日を過ごされるようお勧めします。ご家族の参加も歓迎です。

今後の日程は未定ですが、9月頃に開催する見込です。決まり次第RKMホーム・ページにも案内を載せていただきます。

平成21年4月25日

大幹事・平野精士(25期)  
幹事・川浪茂男(29期)

35期〜41期  
ゴルフ会と懇親会をそれぞれ年2回開催中  
35期のRKMを中心とした41期まで総勢32名の気の置けない集まりです。そもそも35期36期の会合に、37期38期のそれが合体し、さらに39期から41期およびお茶の水OGのメンバーも加えて構成されるようになりました。初期の集まりからは40年近くの歴史があります。春の懇親会は恒例によりRKMだけの集まりで、今年も5月22日に新日鐵代々木倶楽部で開催しました(写真参照)。毎年の新年会はお茶の水OGを交えて開催しています。それぞれのメンバーがOBとして、あるいは現役としてお互いのバスケットのプレイを見知っている仲間なので、いつまでも現役プレイヤー感覚を呼び覚まされる集まりでもありません。いよいよ社会的な現役引退者も増えてきました平日の会合でもノーネクタイの方が数で有利となってきました。また、日曜日開

催だったゴルフ会も平日開催を検討しています。  
今後は年代層を広げようという動きもあり、42期以降の方々も参加されることをお勧めします。幹事から案内を差し上げますのでご出席いただければ幸いです。厳正なる独断の入会審査がありますが、過去に不合格者はおられません。なおこの会は35期のメンバーが威張るためにある、という側面がありますので34期以上のRKM会員の入会は原則としてできませんので、とはいえず、今後のRKMの中核として長老RKMと若手RKMの架け橋の役割を担っていきたく願っています。  
菊田 勉(38期)



47・48・49期  
ゴルフ&畑公墓参り  
RKM 47・48・49期の仲間、2006年から年2〜3回学年対抗ゴルフを楽しんでいます。昨年4月のゴルフ後の19番ホールで、「次回は6月に畑公の墓参りも兼ねて軽井沢の辺りで1泊してやろう・・・」という話が盛り上がり、6月21日にゴルフをやり翌22日に墓参りというツアーを行いました。  
佐久でのゴルフ後のパーティーには、清瀬から渋谷君(48期)筑波から野口君(49期)もかけつけ総勢10人でバスケット・ゴルフの話に花が咲きました。  
当日は朝からあいにくの雨でしたが、渋谷君の先導で佐久市郊外にある正安寺に向かいました。寺は丘の中腹にある禅寺で、杉木立にかこまれた中に畑公のお墓がありました。「たまには墓掃除もいいな」という声も聞かれる中、チームの息のあった連係プレー(バ

ケツリレーと雑巾がけ)でたちまち掃除完了。墓前で各人お線香をあげ、「墓石に記されている「俱会一処」が現実になってきた」「(八代君47期)、「畑公とやりとりしているみたい気分になった・・・」(本多君47期)等の感想や畑公との思い出を浮かべながら帰路につきました。  
今年09年は、畑公の生誕100年という節目の年でもあり、昨年同様ゴルフ後の6月21日(日)にお墓参りする予定です。  
(命日は6月26日です)  
福本 淳一(48期)



# 新会長からのメッセージ

吉澤 正(32期)

本年2月から大澤茂樹前会長を引き継いで会長を仰せつかりました。80余年の歴史を持ち、毎年若い新会員を迎え、400人を超えるメンバーを擁するRKMを、会員相互の親睦を図るとともに、ささやかながら現役への支援も行いつつ、いっそう楽しい同窓の集まりとしていきたいと願っています。就任にあたり総会で挨拶し、その内容はRKMのホームページ(HP)に掲載しましたが、ここでは、すこし具体的に最近の検討課題を取り上げて、皆様のご理解を賜りたいと思います。

習慣を破り習慣を創る  
さきの就任挨拶でも触れましたが、畑言語録に由来する「練習とは、繰り返すこと」によって習慣を破り習慣を創ることな「り」をモットーに、RKMの運営を支えてくれている幹事諸君の楽しいアイデアを後押しし、新しい活動を創り出していきたく思います。  
例えば、アラフォーならぬアラフィフ(大体50期50歳前後)とか30期70歳前後、70期30歳前後などの期幹事の会合を開き、会員の親睦の活性化を考えていただきたいと思っています(ちなみに、現在、卒業の期と年齢を足すと約100です)。  
現役の応援を  
次に、現役の支援についてのお話です



が、各期のメンバーが連れだって、一年に1回は応援に行っていたらいいと思います。各大会で決勝まで残るといってもありませんので、1回戦や2回戦も応援してください。2回戦ぐらいですと現役のチームはなかなかの強さを見せてくれますから愉快なものです。  
へばらないうちに頑張ろう  
最後に、会費の納入についてお願いいたします。毎年会費を払い忘れる方がおられるというのでもありますが、全会員の平均で、2年に1回の割合で会費を払って頂くことを最低の目標にしています。年ごとでみれば、5割の会員が会費を払っていただくことが当面の目標です。昨年は、3割の会員が2年続けて、2割弱の方が2年に1回の支払という状況です。  
大切なことは、各種会合での交流、会報やHPでの情報提供など、会費に値する会員サービスができるかということですので、多くの方のご協力を頂いて、役員一同「へばらないうちに頑張ろう」という気持をもって役目を果たしたいと思っております。よろしく願っています。

# RKMへの期待

前会長 大澤茂樹

本年2月の総会には多くの新人・若手が参集してくれて会場が若く、明るい雰囲気にも包まれた。席上吉澤会長、久我副会長、畑幹事長を中心に30、40、50、60期代の役員が紹介され、躍動するRKMが力強く宣言された。  
旧制から新制への中継ぎ役を引き受けた私にとって、バトンを引き渡せた事に、安堵と喜びを感じている。久しぶりに参加された28期西室さんには突然の依頼ではあったが、混迷する世界経済、とりわけ日本経済の現状について話を聴く事が出来た。RKMの持つ見識の広さである。本業のバスケットについては、日本バスケットボール協会会長代行(会長麻生太郎)29期佐室さんから、協会の現状と改革への決意が披露された。バスケットボール界の土台を背負う佐室さんを、皆で応援しよう。

RKMは今年83年になるが、初代会長三ツ本常彦さんが50周年記念誌に寄稿された「・・・我々はRKMの一員として、唯バスケットを共にしたと言っただけでなく、それ以上の共通した心情を持ち合っている。・・・RKMとして集まれば、一瞬にして同じような心情に浸れることは素晴らしい事であり、この喜びをいつまでも持ち続けるよう大切にしたい。・・・」  
三ツ本さんのこの心情こそ、RKM全員の想いであろう。しかし80歳の年齢差、共に汗を流した仲間は前後3年程度である事を考えると、全てに一体化は難しいものの、KIR(25期)、IKC(26期)、HGC(29期)など、夫々に命名して旧交を温めている。また、234会(32、33、34期)など同学年、前後の学年の仲間が交流していると聞いている。大変結構な事である。そうした学年グループが執行部との連携を一層密にされ、会員の、交流・親睦と現役支援を目的とするRKM活動がより大きな輪となり、実り多き事を期待している。



ホームカミングデー  
恒例のホームカミングデーが2008年9月13日(土)に開催されました。RKMも参加のOBたちが午後2時から体育館で現役との交流戦を行った後、夕方の各部合同懇親会に集まりました。今回の出席者は、瀬古孝男前会長、村松先生、大澤会長以下、印南、清水、吉澤(正)、新津、畑(正)、吉永、桑水流、中村、時任、桑田、堀田、木本ほか若手のOBの参加をみて、交流戦とフリースロー競争とを楽しみました。尚、当日の写真の一部をWEBに載せましたので、RKM・HPのロッカールームを是非のぞいてください。  
今年のホームカミングデーは9月12日(土)に開催です。まだ参加されたことのない方も是非お気軽に足をお運びください。

